

### 新潟建専連が新潟市と意見交換

## 発注 施工 平準化を要望

### 就労環境改善など議論

新潟県建設専門工事業団体

連合会(近喜男会長)と新潟

市との意見交換会が8日、新

潟市中央区の白山会館で開か

れた。会合では就労環境の改

善や適正な休暇取得に資する

発注、施工の平準化などにつ

いて議論した。

近会長と新潟市都市政策部

技術管理センターの笠巻孝道

技術管理課長があいさつした

後、議事に入った。

新潟建専連は週休2日、4

週6休の推進を要望。市側は

これに対し、「国がまとめた『公共建築工事における工期設定の基本的な考え方』の事例解説集に基づき、適切な工期設定に努めている」と説明した上で、「施工の端境期(4-6月)の解消に向け、

当市の次期補正予算で交付金のゼロ債務負担行為の設定を予定している」ことを明かした。同市の交付金でのゼロ債

設定は初めてとみられる。また、防水工事の施工実績

の一部が「防水施工面積」ではなく、「延べ面積」になっていることに関し、同市は「防水施工面積で統一しているが、今後はさらなる徹底を図りたい」と回答した。

このほか、新潟建専連は下請企業の健全な発展と担い手の確保・育成などを目的とする法定福利費の適切な計上

と、元請企業へのさらなる周知、適正な予定価格の設定、最低制限価格の引き上げ、速やかな設計変更を求めた。